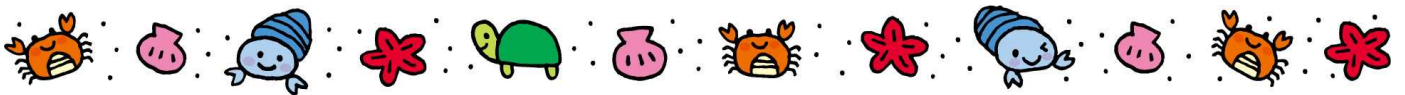




いよいよ夏本番となります。子どもたちは水遊びだけでなく、寒天遊びや泡遊びなど様々な感触遊びを楽しんでいます。赤・黄・緑の寒天を用意するとカップに盛り付けゼリーに見立てたり、足や手を使って三色を混ぜ「ぬるぬるして気持ちいい」と話していました。初めての経験ばかりでワクワクした気持ちで取り組んでいます。今月も暑さに負けないよう、こまめに水分補給をとり体調を崩さないよう気をつけていきたいと思います。

今月は夏祭りを予定しています。今年は緑組のみんなでかき氷を食べたり夏祭りならではの遊びを計画中です。

8月は連休もあり、家庭で過ごすことが増えます。習慣づいてきた規則正しい生活ができるよう、家庭でも心掛けて下さい。また日頃はなかなか時間がとれない親子の触れ合いの機会となると良いですね。



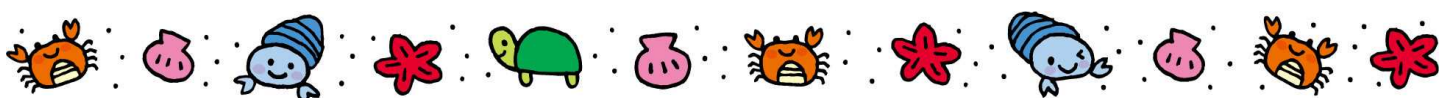
### ●子どもが安心して元気に生活できるために保育教諭が子どもにすること

- 一人ひとりの健康状態を把握し、急な体調の変化を見逃さないよう視診、触診をこまめに行います。
- 食事の量は調節し、水分はこまめにとることで、脱水症状にならないよう十分配慮します。
- 一人ひとりの思いに寄り添いながら丁寧に関わり、子どもが安心して自己主張できるようにします。
- トイレに行くことを嫌がる時には、本人の意志を尊重し、時間を置き様子を見て誘うようにします。
- トイレでの排泄を一緒に喜び、次への意欲に繋げていきます。
- 「貸して」「ちょうだい」など、友達との関わりに必要な言葉を保育教諭自身が言ったり、代弁したりして、子ども同士がやり取りをしながら遊べるようにします。
- 衣服の着脱では、自分でしようとする姿を見守り、頑張っている姿やできた喜びに共感することで自信に繋げていきます。
- 汗で衣服の着脱がしにくい時は、さり気なく手を添えるなどして自分で出来たという満足感を味わえるようにしていきます。
- 水を嫌がる子どもには、少しずつ慣れていけるように側について友達と遊んでいる様子を見たり言葉を掛けたりします。



### ●子どもの遊びと教育的活動

- 保育教諭に見守られながら、トイレで排泄してみようとしています。
- 難しいところは保育教諭に手伝ってもらいながら、簡単な衣服の着脱をします。
- 食事の時間を楽しみにして、スプーンやフォークを使ってこぼさないように食べようとしています。
- 保育教諭や友達と夏の遊びを楽しみます。(水遊び、寒天遊び、かき氷屋さん、片栗粉遊びなど)
- 遊びの中で友達と簡単な言葉のやり取りをしたり、自分の要求や気持ちを言葉で伝えたりします。(「貸して」「ちょうだい」「ありがとう」など)



## <お願いします>

- \*暑くなり体力の消耗が激しくなります。睡眠はもちろんのこと、朝食をしっかりとして登園させて下さい。また、冷たい物の飲み過ぎ食べ過ぎに注意し、水分補給を十分に行ってください。
- \*水に関わる機会が多くなります。水難事故には十分気をつけて下さい。



## 1組の7月の子ども姿

### 「食べられるようになったよ」

ある日の給食の時間。「先生、これいらない。」とAくん。お皿の上には、Aくんの苦手なほうれん草が残っていました。「じゃあ赤ちゃんほうれん草にしてみようか。」とAくんの前で小さく切ってみると、「わあ！赤ちゃんみたいだね」「見せて見せて」と周りの子どももわくわく。Aくんの口へ赤ちゃんほうれん草を運ぶと「パクッ」と食べることができました。「すごいね！食べられたね！」とAくんもとっても嬉しそうに笑っていました。

最近では、「先生、これ小さくして。」とお願いしてくれるようになり、「今日はお姉さんほうれん草にしてみようね。」と少しずつ食べられる量が増えていきます。

これからも楽しい雰囲気の中で食事をしていきます。



### 「かき氷を食べたよ」

かき氷が大好きな子どもたちのために、2種類のシロップを用意しかき氷作りをしました。「ぼくこっちがいい」「いちご好き」と自分の好きなシロップを選び隣に座った友達と楽しく食べました。初めて食べた子は、かき氷の冷たさに驚いていました。「おかわり」「まだ食べたい」と大好評でした。



スイカ割りも  
したよ！